



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 ランサーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4484 URL <https://www.lancers.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 秋好 陽介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画・IR担当 (氏名) 多胡 あき乃 (TEL) 03(5774)6086
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,113	6.3	△54	—	△54	—	△55	—
2023年3月期第1四半期	1,047	7.9	△136	—	△134	—	△136	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △55百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 △136百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△3.48	—
2023年3月期第1四半期	△8.65	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,965	909	30.7
2023年3月期	3,073	957	31.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 909百万円 2023年3月期 957百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	流通総額		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	11,567	1.9	4,812	0.1	40	—	40	—	38	2.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) ランサーズエージェンシー株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	15,839,503株	2023年3月期	15,783,503株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	37株	2023年3月期	37株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	15,824,840株	2023年3月期1Q	15,745,107株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。
 また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の5類への分類引き下げが実施され、経済活動の正常化が一段進むものと期待される一方で、資源価格の上昇や物価高により金融市場の見通しは未だ先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け大きく変容しました。2023年1月に当社グループが実施した「働き方調査2023」（注1）によると、フリーランスの約4割、副業者の約6割が2020年以降に活動を開始しており、新型コロナウイルス感染症の流行が働き方に変化をもたらしたと言えます。また、収益を得ることのみならず、スキルアップといった自己実現を目的にそのような働き方を選択する人材が増えていることも特徴的です。一方、経済活動の再開に伴い企業側の人手不足の問題もより深刻化しています。特に2030年にはデジタル人材が最大79万人不足すると言われており、日本政府はデジタル人材の育成に投資することを表明しております。そういった状況下で、デジタルスキルを習得したフリーランスや副業人材の活躍がより一層期待されるとともに、企業側の外部人材の受け入れや多様な働き方ニーズへの対応が進み、人材の流動性が増していくことが予測されます。また「働き方調査2023」によれば、フリーランスや副業人材の案件獲得方法として当社のようなプラットフォームを利用しての獲得が半数を占め、獲得や依頼におけるオンライン化が進行していることが窺えます。それらは人材の流動性を加速させる後押しとなっており、今後更なる市場拡大が見込まれることと想定しております。

当社グループはこのような環境において「個のエンパワーメント」をミッション、「すべてのビジネスを『ランサーの力』で前進させる」、「誰もが自分らしく才能を発揮し、『誰かのプロ』になれる社会をつくる」をビジョンとして、マッチングプラットフォームを通じた双方への価値提供を強化してまいりました。オンライン上でクライアント（企業）とランサー（個人）を直接マッチングするサービスである「Lancers」、クライアントのエンジニア・デザイナー・マーケター等の求人ニーズに対応して、エージェントを介してフリーランス人材を紹介するサービスである「Lancers Agent」と、同様の形でコンサルタントを紹介する「Professionals On Demand」を当社グループの主力サービスに位置付け、堅調に事業を拡大しております。

当第1四半期連結累計期間においては、主力サービスをマッチング事業として1本化し、よりサービス間の連携強化をすることで成長戦略を推進するとともに、生産性向上施策を実施いたしました。

事業については、マーケティング強化により新規クライアント獲得が計画通りに進捗し、AI機能などのプロダクト改善によりクライアントあたり利用金額も伸長いたしました。一方で、今後の売上総利益拡大に向けては、組織体制の強化による生産性向上が必要であり構造改革を実施しております。

また、規律ある投資や生産性向上施策についても継続して取り組んでおり、7月単月については営業黒字の達成を見込んでおり、通期営業黒字に向けては計画通りに進捗しております。

更に、当社グループの事業効率・経営効率を上げ、成長性・収益性を改善すべく、2023年4月にランサーズエージェント株式会社を当社に吸収合併し、加えて2023年10月にMENTA株式会社を当社に吸収合併する予定であります。今後も、よりサービス間の連携を強化することで、成長加速及び収益性の拡大を図ってまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,113,806千円（前年同期比6.3%増）となり、営業損失は54,201千円（前年同期は営業損失136,873千円）、経常損失は54,261千円（前年同期は経常損失134,822千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は55,116千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失136,118千円）となりました。

なお、当社グループはプラットフォーム事業の単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしていません。

（注1）「働き方調査2023」は、当社グループが「ランサーズ」にランサー（受注者）として登録している個人（フリーランス）を対象に、2023年1月30日～2月5日までの期間に実施した調査であり、209名からの回答を得てまとめたものです。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して108,405千円減少し、2,965,113千円となりました。これは主に、流動資産において売掛金が135,747千円、無形固定資産においてソフトウェアが24,924千円、のれんが12,010千円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末と比較して60,792千円減少し、2,055,329千円となりました。これは主に、流動負債において買掛金が69,685千円、賞与引当金が38,881千円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して47,612千円減少し、909,783千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が55,116千円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表した内容から変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上し、当第1四半期連結累計期間においても営業損失を計上していることから、現時点においては、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。しかしながら、前第4四半期(2023年1月～2023年3月)においては営業利益を計上しております。また、今期においては通期黒字化の予定で順調に進捗しており、変更はございません。さらに、以下に示す改善策を実施していることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

①事業の選択と集中

当社グループの事業ポートフォリオの見直しを行っております。具体的には、前連結会計年度においてはマネージドサービス事業の完全撤退をすることで当社グループの収益性を改善し、更に2022年6月には株式会社ワークスタイルラボを子会社化することで当社グループの競争力を強化いたしました。また当社グループでは、主要サービスである「Lancers」、「Lancers Agent」、及び「Professionals on demand」をマッチング事業に集約し、成長性・収益性の高いマッチング事業への投資に集中することで成長角度を上げていきます。

②マッチング事業の収益性の改善

前連結会計年度においては、より規律ある投資を推進いたしました。具体的には、費用対効果の高い施策への集中やテイクレート改善、付加価値の高い領域への職種拡大、営業活動の効率化等、売上総利益の拡大を推進するとともに収益性の改善も進めております。更に、2023年4月に主要サービス「Lancers Agent」を運営するランサーズエージェンシー株式会社を吸収合併し、経営効率・事業効率の改善を図っております。今後もマーケティング・営業組織の強化を図り成長を加速させるとともに経営資源の効率化による収益性改善にも着手してまいります。

③販管費の更なる適正化

当社グループは、事業拡大のための先行投資が続いたことにより、販管費が増加しております。このような状況を鑑み、当社グループでは、前連結会計年度においてすべての販管費の見直しを行い、適正なコストコントロールができる状態に改善をしております。今後も生産性高く事業運営ができるようプロセス及び組織の整備を進めてまいります。

④資金の確保

現金及び預金については、前連結会計年度末1,295,573千円から、当第1四半期連結会計期間末は1,347,531千円と銀行借入での資金調達を実行したことにより増加いたしました。主要取引銀行との当座貸越契約を従来より締結することで、安定的な資金調達枠を確保し、それに加えて貸出コミットメントライン契約も締結し、機動的な資金調達枠も確保しております。その結果、総額1,210,000千円の資金調達枠を確保しており、当社グループの事業運営資金について十分な水準を維持することが可能となっております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,295,573	1,347,531
売掛金	532,585	396,837
仕掛品	1	1,419
前払費用	45,315	40,605
未収入金	297,158	300,009
その他	69,592	58,952
貸倒引当金	△24,068	△22,549
流動資産合計	2,216,157	2,122,804
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,596	5,026
工具、器具及び備品（純額）	837	736
有形固定資産合計	6,433	5,763
無形固定資産		
ソフトウェア	395,893	370,969
ソフトウェア仮勘定	3,096	26,165
のれん	406,936	394,926
その他	401	390
無形固定資産合計	806,328	792,451
投資その他の資産		
敷金及び保証金	36,929	36,616
繰延税金資産	7,668	7,476
その他	0	0
投資その他の資産合計	44,598	44,092
固定資産合計	857,360	842,308
資産合計	3,073,518	2,965,113

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	345,912	276,227
短期借入金	—	36,000
1年内返済予定の長期借入金	55,290	67,080
未払金	374,994	367,012
未払費用	117,242	136,863
未払法人税等	4,349	45
未払消費税等	27,600	32,950
預り金	736,694	741,832
賞与引当金	79,488	40,606
その他	13,780	13,710
流動負債合計	1,755,352	1,712,329
固定負債		
長期借入金	359,770	343,000
長期未払金	1,000	—
固定負債合計	360,770	343,000
負債合計	2,116,122	2,055,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	63,569	67,321
資本剰余金	1,782,753	1,786,505
利益剰余金	△889,215	△944,332
自己株式	△36	△36
株主資本合計	957,070	909,458
新株予約権	325	325
純資産合計	957,395	909,783
負債純資産合計	3,073,518	2,965,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,047,929	1,113,806
売上原価	549,312	560,203
売上総利益	498,616	553,602
販売費及び一般管理費	635,490	607,804
営業損失(△)	△136,873	△54,201
営業外収益		
営業債務消滅益	1,301	745
助成金収入	570	—
その他	532	316
営業外収益合計	2,404	1,061
営業外費用		
支払利息	353	1,080
その他	—	41
営業外費用合計	353	1,121
経常損失(△)	△134,822	△54,261
税金等調整前四半期純損失(△)	△134,822	△54,261
法人税、住民税及び事業税	680	662
法人税等調整額	615	192
法人税等合計	1,296	855
四半期純損失(△)	△136,118	△55,116
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△136,118	△55,116

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△136,118	△55,116
四半期包括利益	△136,118	△55,116
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△136,118	△55,116

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2023年2月13日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるランサーズエージェンシー株式会社を吸収合併することを決議し、2023年4月1日付で吸収合併いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

結合企業の名称：ランサーズエージェンシー株式会社

事業の内容：IT人材支援事業等

(2) 企業結合日

2023年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、ランサーズエージェンシー株式会社を消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

ランサーズ株式会社

(5) その他取引の概要に関する事項

当社は、2017年11月にハイスキルIT人材の紹介・仲介するサービスを運営しているパラフト株式会社(ランサーズエージェンシー株式会社に社名変更)を子会社化しました。

同社は、当社が運営しているオンライン上で企業と個人が直接マッチングするサービス「Lancers」のデータベースと連携し、エージェントを介して、優秀なエンジニア等のIT人材を企業にご提案してまいりました。

本合併により、これまでのデータベース連携に加えて、マーケティング・営業組織の強化を図り成長を加速させるとともに、当社グループの経営資源の効率化にも着手してまいります。

2. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。